

## 北海道銀杏会 第 40 回講演会

日時 2025 年 7 月 29 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分

場所 札幌ガーデンパレス札幌 5 階 「はまなす」

講師 株式会社 大人 代表取締役社長 五十嵐 慎一郎 様

2025 年度初めての講演会には、株式会社 大人 五十嵐 慎一郎代表取締役社長をお迎えし、「五十嵐慎一郎という人間を通した北海道ローカルムーブメント最前線 2025 の旅 ～NoMaps、岬の湯しゃこたん etc.～」と題してご講演いただきました。

### 1. 東京大学卒業後

五十嵐代表取締役社長は、東京大学の建築学科を卒業後、建築そのものはもちろん、建築の前後にある人や動きも大事であると気付き、2013 年銀座の一等地に「銀座コワーキングカフェ the SNACK」を立ち上げました。

### 2. 札幌移住計画と北海道移住ドラフト会議

銀座コワーキングカフェの経験を基に、2016 年に独立し、「札幌移住計画」を立ち上げ、最初は仕事があり無かったようですが、少しずつ北海道外の企業と協力する仕事を増やし、同時に北海道の仕事を増やしていきました。ここで、「北海道移住ドラフト会議」を始めました。北海道移住ドラフト会議では、球団として市町村（数は球団と同じ 12）、選手として道外から北海道への移住希望者を集め、お互いに自己アピールを行い、球団は選手の獲得に努めます。現在、8 年目で毎年 2～3 割が実際に北海道に移住しているとのこと。どこの市町村がどんなことをしているのか、10 年前はよくわからなかったのが、少しずつ具体的にわかるようになってきており、現在は、ドラフト会議に役所だけでなく有志の団体も球団として出るようになってきたそうです。

### 3. 大人座と No Maps

北海道移住ドラフト会議と同時並行で札幌にコミュニティカフェバー「大人座」を開設、2025 年 6 月にイベントスペースとなりました。また、地域活性化を目的とする「ほっとけないどう」プロジェクトを発足させ、定期的にイベントを開催しています。

この頃にイベント「No Maps」と関わり始めました。札幌に代表的な祭りを作りたいという五十嵐氏の思いを実現する形となり、現在は総合プロデューサーを勤めています。No Maps は 10 年目に入り、昨年は 7 万人が来場し、函館、釧路、根室、旭川でも有志でスタートするらしいです。今年からダイヤモンドパスポートという最上グレードのパスポートを作り、限定イベントを企画するなど、差別化を図っています。

### 4. 岬の湯しゃこたん

積丹町は五十嵐氏は子供の頃に年に 1 度、温泉とキャンプに行っていたくらいで、特にゆかりがあるという土地ではありませんでしたが、売りに出されていた「岬の湯しゃこたん」

を購入し、事業を始めました。積丹町は人口 1,700 人で、観光客はほぼすべて夏のみとなります。

事業を開始したものの、苦労もあるようで、ボイラーが壊れたときは露天風呂をサウナ後用の水風呂にし、乗り切ったそうです。「フロと日常からのリダツ」をコンセプトに、「フロリダ」という宿を今年リニューアルオープンしました。総務省による地域おこし協力隊が企業に配属されることとなり、現在、1 名が勤務しています。また、台湾人の女性に積丹に来てもらい、台湾料理食堂「baobao 食坊」で台湾料理をふるまい、ウニ井に次ぐ積丹町の名物を目指しています。さらに、近所の小学校が廃校になったため、岬の湯しゃこたんを含む道の駅一帯を開発し、一大アミューズメントスポットにしたいという計画があるそうです。

(文責 室岡瑞恵)

